

各教科の特性を踏まえた、東方中学校における「主体的・対話的で深い学び」を生む学習構成表

音楽科

段階	定義	活動場面	教科の特性を考慮した活動（生徒の立場で記入する。）	ICT の活用
主体的な学び	<ul style="list-style-type: none"> ● 問いや疑問に対して、これまでに学習してきた知識や技能を使って、自分の考えをもつこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 課題を提示する。 ● 自己到達やそのための手立てを考えさせる。 ● 比較や分析をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本時の学習課題を確認する。 ● 前時までに学習した内容から、本時の学習課題を理解する。 ● 模範演奏と自分の演奏を比較し、問題点に気づく。 ● 課題を解決するための手順や手立てを考える。 ● 学習課題に対して、どんな表現や工夫を行えばよいのか、自分の課題を考える。 ● 学習課題に対して、基礎的な知識を効果的に用いて課題解決に迫る。 	<ul style="list-style-type: none"> ● タブレット PC と授業支援ソフトを用いて、発表ノートを配付し、学習課題に対する自分の考えや目標などをまとめさせる。 ● 教師用タブレット PC と授業支援ソフトを用いて、各生徒の考えを確認する。 ● タブレット PC と授業支援ソフトを用いて、口の開け方や声の大きさ、姿勢、運指など演奏方法の確認をさせる。 ● 電子黒板を用いて、前時までに学習した内容から、本時の学習内容に関係した内容を提示して確認させる。 ● 電子黒板とタブレット PC、スマートフォンを接続して、課題に関する資料の画像や動画を視聴させ、参考にさせたり、関心や意欲を高めさせたりする。 ● 電子黒板を用いて、各自の考えを全体に提示する。 ● 電子黒板を用いて、前時までに学習した内容を確認し、本時のねらいを確認させる。 ● 電子黒板を用いて楽曲に関する画像や動画を視聴させ、学習に対する関心・意欲を高めさせる。 ● パワーポイントなどで作成したプレゼンテーションを用いて、楽曲に関連する画像や動画を視聴させ、考えをまとめさせる。 ● CD 機器を用いて、模範となる演奏と、自分で録音や録画したものと聞き比べ現状を把握させる。

各教科の特性を踏まえた、東方中学校における「主体的・対話的で深い学び」を生む学習構成表

音楽科

対話的な学び	<ul style="list-style-type: none"> ● 他と対話しながら、自分の考えを比較・吟味するなどして、考えを広げたり深めたりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ● イメージした内容やその根拠をグループで検討する。 ● 表現や鑑賞で記録したものをもとにグループで話し合う。 ● 各グループでイメージした内容やその根拠を全体で検討する。 ● グループで練習等を行う。 ● 録音や録画した内容をもとに、学習課題について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 各自が立てた課題やその根拠を発表し、全体で検討する。 ● グループ（パートやペア）をつくり、各自が考えた課題やその根拠を発表し、グループ等で検討する。 ● グループをつくり、各自が考えた練習内容や方法を、グループで検討する。 ● 各グループで検討した演奏や考えを発表し、全体で聴き合い、評価する。 ● 全体で仕上げた演奏や考えを通して、比較や分析を行い、よりよい演奏を目指す。 ● グループごとに聴き合うことで、更なる工夫を目指す。 ● 全体演奏を通して、良かった点や改善点を確認したり、意見交換したりする。 ● 表現を工夫する行う際の手立てを共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 授業支援ソフトのグループ化機能を用いて、各自の考えを共有させる。 ● 授業支援ソフトのグループ化機能を用いて、表現や鑑賞で記録した結果を共有させる。 ● 授業支援ソフトを用いて、タブレットPC画面に結果を提示し、学習課題に対する状況と改善点などを話し合わせる。 ● 電子黒板と授業支援ソフトの画面比較機能を用いて、各自が考えたことを、分類して提示する。 ● 電子黒板を用いて、グループで話し合わせたり、演奏させたりしたものを提示し発表させる。 ● 模範となる演奏と録音や録画したものを比較させ、意見交換及び多様な考えに触れさせる。 ● 鑑賞を通して、楽曲のもつ特徴を理解させ、比較を通して様々な価値に触れさせる。
深い学び	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分のこれまでの考えと新たな考えをつなげること。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習のまとめを行う。 ● 新たな課題及び改善点を見いだす。 ● 自らの課題について振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習解決のための工夫を行ったか、自ら振り返り、本時に学習した内容を整理してノートにまとめる。 ● 前時までに学習した内容と、本時に学習した内容がどのように関係しているのか確認する。 ● 本時に学習した内容から、新たな改善点について考える。 ● 多様な意見をもとに、より完成された演奏等を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本時の学習のまとめに関するキーワードをいくつか黒板に提示し、タブレットPCと授業支援ソフトを用いて、本時の学習内容をまとめさせる。 ● タブレットPCと授業支援ソフトを用いて、グループで共有した演奏や感想等の結果から、学習課題に対する良かった点と改善点を画面にまとめさせる。 ● 電子黒板と授業支援ソフトを用いて、各自が学習した内容をもとに、学習課題に対する良かった点と改善点を提示し、全体で確認したり、意見交換させたりして自らの問題点に気づかせる。 ● 電子黒板を使って、全体に発表する場面を設け、発表させる。 ● 模範となる演奏と録音や録画したものを比較し、意見交換を行わせ、多様な考えに触れさせながら、グループでの話しあいを通してより高い演奏を目指す。